

日 本 史

日 本 史

第 1 問 次の文章（A～D）の空欄 1 ～ 3, 8 ～ 10, 14 ～ 16, 20 ～ 22 に適する語句を、後の〔語群〕ア～ヤのうちからそれぞれ一つずつ選べ。また下の問い（問 1 ～ 13）に答えよ。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。なお、〔語群〕は第 1 問の最後にある。）

A 桓武天皇は 1 天皇の孫にあたる光仁天皇の子で、781 年に即位した。母が渡来系氏族の出身で天皇としての権威が不安定だったこともあり、784 年、山背国の 2 への遷都を強行するとともに、^a唐の皇帝をまねて天の祭祀を行い、権威・権力の強化をはかった。しかし、大伴氏らの旧豪族が反発し、造営責任者である藤原種継が暗殺されるなど、政治の混乱をまねいたため、794 年には再度の遷都が行われた。一方、東北地方で蝦夷の蜂起が続いたことに対し、^b大規模な征討事業をくり広げた。

こうした相次ぐ遷都や蝦夷征討は政府財政と公民の生活を圧迫したため、桓武天皇は ^c地方政治の改革を進めた。しかし 3 の提案により、805 年に平安京造営と蝦夷との戦争の両事業を打ち切った。対外的には、804 年に遣唐使を派遣するとともに ^d新羅にも使節を派遣した。

問 1 下線部^aに関連して、桓武天皇から嵯峨天皇の時代にかけて推進された唐風化政策や出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 唐の開元通宝にならい、和同開珎を鑄造した。
- ② 中国の歴史書の体裁にならい、『日本書紀』が編纂された。
- ③ 国ごとの地誌として、風土記の編纂を命じた。
- ④ 律令制定後に出された法令を格と式とに分類・編集した弘仁格式を編纂した。

問 2 下線部^bに関連して、古代の東北経営に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

- Ⅰ 阿倍比羅夫が秋田・津軽地方の蝦夷を服属させた。
- Ⅱ 坂上田村麻呂によって胆沢城が築かれた。
- Ⅲ 多賀城が築かれ、陸奥国の国府と鎮守府が置かれた。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問3 下線部㉔に関連して、桓武天皇が行った地方政治の改革について述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 6

- a 勘解由使を設置し、国司交替の際の事務引継ぎを監督させた。
- b 検非違使を設置して警察・司法を管轄させ、治安維持を強化した。
- c 私有地の増加を抑えるため、初めて荘園整理令を発令した。
- d 東北や九州などをのぞき、軍団と兵士を廃止した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問4 下線部㉕に関連して、桓武天皇の時代における新羅など周辺諸国との関係について述べた次の文 I ・ II について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

- I 新羅は、唐との対立から日本へさかんに使節を派遣していた。
- II 渤海から初めて使節が来日し、日本に提携を求めてきた。

- ① I－正 II－正 ② I－正 II－誤
③ I－誤 II－正 ④ I－誤 II－誤

B 北条時宗は 1251 年、北条時頼の嫡子として生まれ、7 歳で 6 代将軍 8 の手で元服した。時宗は 1268 年に執権に就任したが、それはちょうど、9 からの使節がモンゴル皇帝フビライ＝ハンの国書をもたらし直後のことであった。こののち、元と 9 の連合軍が 1274 年、1281 年の 2 度にわたって日本に襲来した。時宗は ^㉔一貫して強硬策をとり、幕府を事実上の全国政権へと成長させた。この後、幕府では ^㉕得宗専制政治が進められた。

一方、1272 年に後嵯峨法皇が死去したことを契機として ^㉖天皇家の内紛が生じ、皇統が大覚寺統と持明院統に分裂した際、時宗は両者を尊重する態度をとったことが、のちの両統迭立の発端となった。仏教政策では禅宗に帰依し、禅僧無学祖元を招いて鎌倉に 10 を建立した。

問 5 下線部 ^㉔に関連して、この時、北条時宗が蒙古襲来（元寇）に対処するためにとった政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 博多湾沿いに石造の防塁（石築地）の築造を進めた。
- ② 全国の荘園・公領の武士を動員する権限を朝廷から獲得した。
- ③ 異国警固番役を整え、御家人に九州沿岸の警備を命じた。
- ④ 永仁の徳政令を出し、窮乏した御家人の救済をはかった。

問 6 下線部 ^㉕に関して述べた次の文 I・II と、それに関連する下の語句 a～d の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 12

I 北条時宗の没後、有力な御家人安達泰盛が滅ぼされた。

II 北条得宗家の家臣が幕政での発言力を強めた。

a 宝治合戦 b 霜月騒動 c 内管領 d 評定衆

- ① I－a II－c ② I－a II－d
- ③ I－b II－c ④ I－b II－d

問7 下線部㉔に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 13

Ⅰ 亀山天皇の流れをくむ皇統を、持明院統という。

Ⅱ 持明院統は、天皇家領荘園のうち八条院領を継承した。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

C 徳川吉宗は紀伊藩主の4男として生まれ、1716年、7代将軍[14]の死去にともなって将軍に就任した。その際吉宗は、間部詮房や新井白石らを退けて幕府内部の人心統一をはかったうえで、幕政改革に着手した。

政治面では、^h人材登用のしくみや法典を整備するなど实际的で合理的な政治運営につとめた。また、財政再建をめざし、1722年からⁱ大名に上げ米を命じる一方、幕領の年貢徴収方法を[15]に変更するなどして収入増加をはかった。対外面では、朝鮮からの国書に記載された将軍の呼称を、新井白石による改革以前の[16]に戻した。一方、ヨーロッパの実用的な学術に興味を示し、^j漢訳洋書の輸入制限を緩和した。

問8 下線部^hに関連して、徳川吉宗が行った政治改革について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [17]

- ① 人材登用にともなう経費を節減するため、足高の制を設けた。
- ② 裁判や刑罰の基準として、判例などを編集して公事方御定書を制定した。
- ③ 評定所の門前に目安箱を設け、庶民の意見や不満を直接聞こうとした。
- ④ 湯島聖堂の学問所での朱子学以外の講義を禁じ、朱子学の理解を試す試験制度を始めた。

問9 下線部①に関して、次の史料は1722年、大名に上げ米を命じた際、その理由について説明したものである。この史料の内容について述べた下の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 18

御旗本ニ召置かれ候御家人（注1）、御代々段々相増候。御蔵入高も先規よりハ多く候得共、御切米（注2）御扶持方、其外表立候御用筋の渡方ニ引合候ては、畢竟年々不足の事ニ候。…（中略）…今年ニ至て御切米等も相渡し難く、御仕置筋の御用も御手支の事ニ候。それニ付、御代々御沙汰之無き事ニ候得共、万石以上の面々より八木差し上げ候様ニ仰せ付けらるべしと思召し、左候ハねば御家人の内数百人、御扶持召放さるべきより外は之無く候故、御恥辱を顧みられず仰せ出され候。……

（注1）「御旗本ニ召置かれ候御家人」…旗本や御家人のこと。

（注2）「御切米」…俸禄として支給された米のこと。

Ⅰ 旗本や御家人の人数が増加していた。

Ⅱ 旗本や御家人への俸禄の支給が滞っていた。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問10 下線部①に関連して、漢訳洋書の輸入制限を緩和したことを契機として蘭学（洋学）が発展した。江戸時代における蘭学（洋学）の発展について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 19

Ⅰ 緒方洪庵が大坂に開いた適々斎塾（適塾）で、橋本左内らが学んだ。

Ⅱ 天文方の高橋至時らが、寛政暦を作成した。

Ⅲ 前野良沢・杉田玄白らが、『解体新書』を訳述した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

D 加藤高明は、東京大学卒業後の 1881 年に三菱会社に入社し、社長の [20] に認められた。1887 年、加藤は官界に転じ、^{①k}大隈重信外相の秘書官などを経て、第 4 次伊藤博文内閣、第 1 次西園寺公望内閣で外相をつとめた。やがて伊藤・西園寺から離れ、1912 年に第 3 次桂太郎内閣の外相となった。

1914 年、加藤は第 2 次大隈重信内閣の外相に就き、第一次世界大戦が勃発すると [21] を理由として参戦を主導し、^①東アジア・太平洋地域での勢力拡大をはかった。加藤は大隈内閣の総辞職後、旧与党を中心に組織化された [22] の総裁となり、1924 年、第二次護憲運動の結果、^{①m}首相として護憲三派内閣を組織し、政党政治の基礎をつくりあげた。

問 11 下線部^{①k}に関連して、この間およびこの後における出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

[23]

- Ⅰ 鉄道国有法が制定され、主要な民営鉄道が買収された。
- Ⅱ 条約改正交渉への反発からテロ事件が生じ、黒田清隆内閣が総辞職した。
- Ⅲ 義和団事件に際し、日本を含む列国が出兵した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問 12 下線部^①に関連して、第 2 次大隈内閣の外交政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [24]

- ① 中国の袁世凱政府に対し、山東省のドイツ権益を日本が継承することなどを要求した。
- ② アメリカが第一次世界大戦に参戦すると、アメリカと石井・ランシング協定を結んだ。
- ③ チェコスロヴァキア軍の救援を掲げて、シベリア・北満州に軍隊を派遣した。
- ④ ヴェルサイユ条約に調印し、赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を獲得した。

問 13 下線部㊸に関連して、護憲三派内閣のもとで行われた政策について述べた次の文Ⅰ・Ⅱと、それに関連する下の語句 **a** ～ **d** の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 25

Ⅰ ソ連と国交を樹立し、国際関係の安定につとめた。

Ⅱ 国体の変革や私有財産制度の否認をめざす結社を取り締まる法律を制定した。

a 日ソ中立条約 **b** 日ソ基本条約 **c** 治安維持法 **d** 治安警察法

① Ⅰ－**a** Ⅱ－**c** ② Ⅰ－**a** Ⅱ－**d**

③ Ⅰ－**b** Ⅱ－**c** ④ Ⅰ－**b** Ⅱ－**d**

〔語群〕

ア 藤原緒嗣	イ 征夷大將軍	ウ 平安京	エ 日露協約
オ 藤原頼経	カ 高麗	キ 日英同盟	ク 日本国王
ケ 岩崎弥太郎	コ 円覚寺	サ 検見法	シ 渋沢栄一
ス 班田収授法	セ 徳川家宣	ソ 宗尊親王	タ 南宋
チ 天智	ツ 桂・タフト協定	テ 五代友厚	ト 徳川家継
ナ 源実朝	ニ 憲政会	ヌ 徳川家綱	ネ 恭仁京
ノ 藤原広嗣	ハ 藤原冬嗣	ヒ 南禅寺	フ 日本国大君殿下
ヘ 革新倶楽部	ホ 百済	マ 建仁寺	ミ 定免法
ム 聖武	メ 立憲同志会	モ 長岡京	ヤ 文武

第2問 次の文章（A～C）を読み，下の問い（問1～8）に答えよ。

A 律令制度のもとでは，人々は戸ごとに把握され，毎年作成される「ア」に記載された[Ⓐ]成人男性の人数に応じてさまざまな負担が課せられた。しかし，律令制度の原則にもとづいて政府の財政を維持することは次第に困難となっていった。10世紀になると，政府は「イ」を課税単位として，その面積に応じて租税を課し，有力農民らに納税を請け負わせる体制をとるようになった。

問1 空欄「ア」・「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- | | | | |
|--------|---------|--------|-------|
| ① アー戸籍 | イー名（名田） | ② アー戸籍 | イー口分田 |
| ③ アー計帳 | イー名（名田） | ④ アー計帳 | イー口分田 |

問2 下線部[Ⓐ]に関連して，律令制度のもとで人々に課せられた負担について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 成人男性に課せられた調・庸は都へ運ばれ，中央政府の財源となった。
- ② 口分田などの田の収穫から徴収された租は，主に都へ運ばれて貯蔵された。
- ③ 稲を貸し付けて利息とともに回収する雑徭は，その利息が諸国の財源となった。
- ④ 国司の命令により運脚を課せられ，その国内の土木事業などに動員された。

B 13 世紀にモンゴル帝国が出現してユーラシア大陸をまたぐ大帝国を形成すると、東西を結ぶ交流が活発となった。日元間でも民間商船の往来が活発に行われ、^⑥日本国内での貨幣経済の発展をうながした。

15 世紀半ば以降、日本国内では次第に銭貨が不足がちとなり、粗悪な^⑦私鑄銭の流通が増えて円滑な貨幣流通が阻害されるようになった。

16 世紀末に豊臣政権によって石高制が全国的に整えられると、江戸幕府もそれを継承し、^⑧石高制にもとづいて人々にさまざまな負担を課した。

問3 下線部^⑥に関連して、室町時代の貨幣経済について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

Ⅰ 室町幕府は、京都市中の土倉や酒屋に対して段銭や棟別銭を賦課した。

Ⅱ 農民は分一銭の納入によって、室町幕府から年貢の一部を免除された。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問4 下線部^⑦に関連して、銭貨が不足するなか、私鑄銭の流通が増えたために生じた行為として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

① 為替 ② 撰銭 ③ 偽籍 ④ 銭納

問5 下線部^⑧に関連して、江戸幕府が本百姓に課した負担について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

① 田・畑・家屋敷に課せられるものを、本途物成と称した。

② 山野河海を利用して得た収益に課せられるものを、小物成と称した。

③ 主な街道周辺の村々では、伝馬役を負担させられた。

④ 年貢の納入に村は関与せず、本百姓が個々に責任を持った。

C 明治政府は 1871 年の によって国内統一の基礎を整えると、^e 租税制度の改革に着手した。当初は政府の租税収入のほとんどが地租で占められていたが、1880 年代には酒税が大幅に引き上げられ、^f やがて日清戦争後には、地租を抜いて税収の第 1 位を占めるにいたった。

日露戦争時には、戦費調達のために非常特別税として酒税や営業税などが増税されるとともに、各種の消費税が新設された。第二次世界大戦後の 1949 年、アメリカからシャウプを団長とする租税専門家チームが来日して税制勧告を行い、 中心主義や累進所得税制が採用された。

問 6 空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 版籍奉還 間接税
- ② 版籍奉還 直接税
- ③ 廃藩置県 間接税
- ④ 廃藩置県 直接税

問 7 下線部^eに関連して、地租改正とよばれる、この時の租税制度の改革について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 地券を所有し、土地所有権を認められた者が納税者とされた。
- ② 課税の基準とされた地価は、物価変動に関係なく一定とされた。
- ③ 所有権を立証できない入会地は、官有地に編入された。
- ④ 納税方法が、金納から物納（米納）に変更された。

問8 下線部①に関連して、日清戦争前後の地租に関する議会での動きについて述べた次の文Ⅰ・Ⅱと、それに関連する下の語句 a ～ d の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 33

Ⅰ 帝国議会が始まると、旧民権派は地租などの軽減を主張した。

Ⅱ 地租増徴案に反発する自由党と進歩党が合同し、衆議院で単独過半数を占めた。

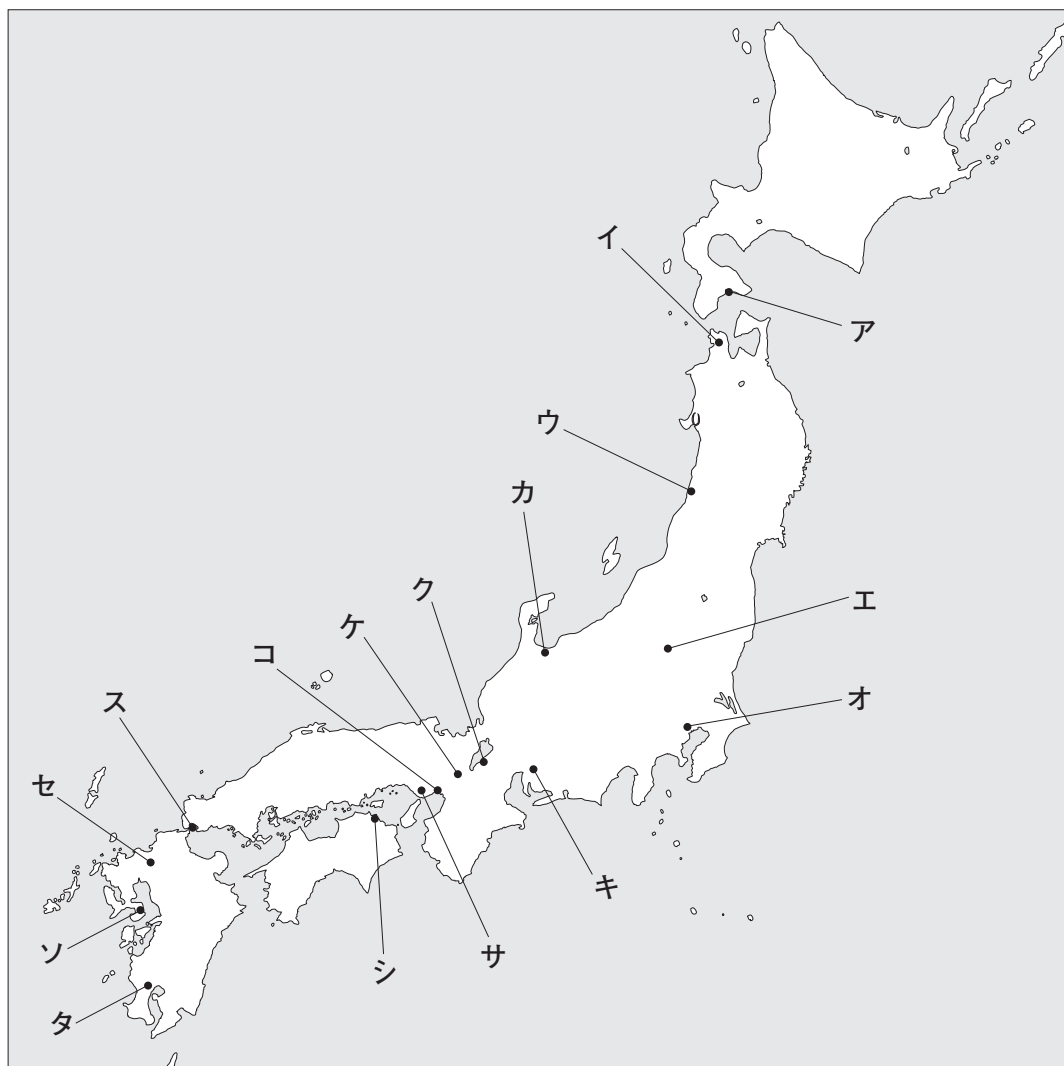
a 政費節減・民力休養 b 憲政擁護・閥族打破 c 憲政党 d 立憲政友会

① Ⅰ－a Ⅱ－c ② Ⅰ－a Ⅱ－d

③ Ⅰ－b Ⅱ－c ④ Ⅰ－b Ⅱ－d

第3問 次の①～⑤は古代から近代までの用語・出来事であるが、最も関係の深い場所を、下の地図中のア～タのうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- | | |
|----------|----|
| ① 大宰府 | 34 |
| ② 壇の浦の戦い | 35 |
| ③ 十三湊 | 36 |
| ④ 安土城 | 37 |
| ⑤ 足尾鉾毒事件 | 38 |



第4問 次の文章（A～C）を読み、下の問い（問1～7）に答えよ。

A 古代の日本では、㉠絵画は仏教と深く関わりながら発展し、広まりをみせた。一方、律令制度の展開にともなう唐から世俗的な絵画の導入も進み、平安時代中期には中国の風景・風俗を題材とする唐絵だけでなく、日本の風景・風俗を主題とする大和絵が屏風などに描かれた。

大和絵は、㉡平安時代末期から鎌倉時代には絵と詞書とを織りまぜる絵巻物によって発展した。

問1 下線部㉠に関連して、仏教と絵画の関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 39

- Ⅰ 高句麗の僧曇徴が、彩色や紙、墨の技法を伝えた。
- Ⅱ 密教の世界観をあらわした神護寺の両界曼荼羅が制作された。
- Ⅲ 浄土教の教えにもとづき、高野山聖衆来迎図が描かれた。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問2 下線部㉡に関連して、平安時代末期から鎌倉時代にかけて制作された絵巻物について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 40

- ① 『伴大納言絵巻』は、応天門の変の顛末を脚色して描いている。
- ② 平氏一門の繁栄を祈願するため、『平治物語絵巻』が描かれた。
- ③ 時宗の開祖とされる人物の業績を称え、『一遍上人絵伝』が描かれた。
- ④ 『蒙古襲来絵巻』は、肥後の御家人竹崎季長の活躍ぶりを描いている。

B ㉓ 16 世紀から 17 世紀にかけて、金銀の下地に濃い色彩を用いる装飾性豊かな障壁画が描かれ、なかでも、中国から伝わった水墨画に大和絵の手法を取り入れた狩野派の絵師などが活躍した。これらの絵師のなかには、不特定の客の求めに備えて注文なしに絵を描き、商品として販売するものもいた。各地で都市が発達するなかで㉔美術工芸品に対する需要が高まったことに対応したものである。

17 世紀末以降には、㉕都市や庶民の生活・風俗を題材とした浮世絵が版画として製作され、安価に入手できることもあって庶民のあいだで人気を博した。

問3 下線部㉓に関連して、この時期に活躍した絵師に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 41

Ⅰ 狩野永徳は織田信長や豊臣（羽柴）秀吉に仕え、『唐獅子図屏風』などの濃絵を描いた。

Ⅱ 俵屋宗達は江戸幕府の御用絵師として、『紅白梅図屏風』などの装飾画を描いた。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問4 下線部㉔に関連して、京都における美術工芸品の制作について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 42

① 本阿弥光悦は、書や蒔絵、楽焼などで才能を発揮した。

② 酒井田柿右衛門は、上絵付の技法で赤絵を完成させた。

③ 尾形光琳は、絵画だけでなく、蒔絵の分野でも名作を残した。

④ 絹生地に華やかな絵模様をあらわす友禅染が生み出された。

問5 下線部㉕に関連して、浮世絵版画について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 43

① 菱川師宣は、従来の墨一色の版画に新しい彩色の技法を工夫した。

② 円山応挙は、錦絵とよばれる多色刷の版画を創始した。

③ 寛政期、役者絵に喜多川歌麿、美人画に東洲斎写楽が現われた。

④ 天保期、歌川広重によって風景版画が出版された。

C 明治政府は、^⑥当初、工部省のもとで西洋美術の導入を進めたが、やがて美術教育を文部省のもとに移し、美術教育の体系を整えた。日露戦争後には、文部省が美術界の振興をはかるため、文部省美術展覧会（文展）を始めた。

しかし、審査委員の任命や受賞などで批判があり、内外から改革の声があがった。そのため、^⑦大正期には文展に対抗する動きが広がった。

問6 下線部⑥に関連して、明治初期から日清戦争後にかけての美術界の動向について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 44

- ① 工部美術学校では、殖産興業に必要な技術として西洋美術が導入された。
- ② アメリカ人フェノロサは、日本の伝統美術を高く評価した。
- ③ 東京美術学校は、設立当初は西洋美術を除外していた。
- ④ フランスから帰国した狩野芳崖は、印象派の表現を伝えた。

問7 下線部⑦に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 45

- a 二科会が結成され、菱田春草らの日本画家が参加した。
- b 二科会が結成され、安井曾太郎らの洋画家が参加した。
- c 日本画の横山大観らが、日本美術院を再興した。
- d 洋画家の浅井忠らが、日本美術院を再興した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

（日本史の問題は終わり）